

「自治体への要請行動を通じて過労死ゼロ都市宣言」を実現する取り組み

鈴木明男

愛知働くもののいのちと健康を守るセンター
事務局長

愛知健康センターの紹介

愛知働くもののいのちと健康を守るセンター(略称:愛知健康センター)は、1960年代からの職場の労働安全衛生に取り組んできた労働組合の活動家や、1988年に始められた愛知職場の健康問題研究会の活動などが土台になり、いのちと健康を守る運動を労働組合運動の中心課題に位置づけてと名古屋大学の山田信也教授の指導の下に全国に先駆けて1991年7月に設立され、今日に至っています。

現在、労働組合、勤労者組織、医療組織などの団体と医師・医学者、弁護士、労働行政担当官などの専門家や過労死家族の会、公務職場・民間企業OBなどの会員で構成しています。

毎年、一回(8月最終土曜日)総会を開いて活動の方針を検討します。事務局会議は、隔週月曜日に開催し、運動の具体化を検討します。

<主な活動>

- ・職場の安全衛生活動の経験交流集会と職場見学ツアー
- ・労働安全衛生学校、いのちと健康大学
- ・働き方改革関連法の学習会(労働基準法・労働安全衛生法・過労死等防止対策推進法)
- ・過労死の予防と遺族の労災補償の支援、職場の安全と衛生の活動
- ・労働相談(仕事と健康相談)
- ・ニュース「いのちと健康」隔月発行(16ページ)
- ・2003年から認可されたNPO 愛知健康センターとの連携を進めている

職場の労安活動を労働運動の中心活動に据え、過労死・在職死等をなくすこと そのために

ア、「過労死をなくすために何ができるのか」の開催
イ、厚労省主催の「過労死等防止対策推進シンポジウム」の協力共同
ウ、健康で人間らしく働くために「若者のパネルディスカッション」
エ、過労死遺族への労災認定支援(労働基準監督署・裁判所)
オ、過労死防止月間(11月)に

合わせて「過労死110番」11/17～23(勤労感謝の日を含む一週間)カ、愛知労働局への要請・懇談と働き方改革関連法の解説出前講座
キ、愛知県・名古屋市などに過労死をなくす要請行動
ク、衛生推進者養成講習
ケ、名古屋過労死を考える家族の会・名古屋過労死弁護団・アスベスト対策愛知連絡会・愛視協と連帯
コ、アスベストの飛散防止対策と被災者の救済支援
サ、鉄道駅プラットフォームに転落防止用ホーム・ドア設置運動
シ、戦争ノーマンなど市民集会への参加

自治体への要請

- ・愛知県知事選挙に合わせて公開質問状・・・二人の候補者から過労死防止の回答を得る
- ・名古屋市長と豊川市長へ「過労死ゼロ都市宣言」を要求
- ・名古屋市立の学校生徒学生と教職員に労働基準法、労働安全衛生法、過労死防止大綱の周知徹底を要求
- ・愛知県立、名古屋市立、私学での啓発授業への講師派遣

広く市民への宣伝活動

- ・街宣＝金山・名古屋・刈谷・丸の内・栄・市役所などで駅前宣伝
- ・媒体＝ニュース「いのちと健康」、「110番」チラシ、新聞、TV

東海地方での運動

- ・愛知、静岡、岐阜、三重の東海4県での「健康で働くためのセミナー」の開催
- ・岐阜、三重の「過労死等防止対策推進シンポジウム」の参加

岐阜とは公務災害申請から認定まで協力しました。公務災害が認められて市長が遺族に謝罪した。その後「岐阜過労死をなくす会」が結成された。また、三井金属神岡じん肺裁判などの支援をした。

三重とは過労死事件と町職員のパワハラ事件さらに特化物による労災認定事件の支援を行った。